

(事務局記入欄)

受付番号	
受付日	平成 年 月 日

**(記入要領)**  
**融合的連携研究制度 課題提案書**

平成 年 月 日

(フリガナ) 企業名	〇〇〇〇カブシキガイシャ		
(フリガナ) 提 案	〇〇 〇〇		
(フリガナ) 代表者名	〇〇 〇〇		(印)
	所属	技術統括部	役職 部長
(フリガナ) 連絡先	〒 —		
	TEL	— —	FAX — —
	e-mail		

提案する研究開発課題	〇〇〇〇開発
研究開発期間	平成29年4月1日～平成〇年〇月〇日(〇ヶ年)

概要(800字以内)

チームリーダー 候補者 (企業から)	(フリガナ) 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇		
	*履歴書(写真付)、職務経歴書(業績リスト)添付 *業績のうち本提案課題に関連する代表的なもの3点に〇印を 付け、論文別刷等(コピー可)を添付		
	所属	〇〇開発部	役職 主席研究員
	TEL		FAX
e-mail			
副チームリーダー 候補者 (理研から)	(フリガナ) 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇		
	*別途様式による意見書、業績リスト添付 *業績のうち本提案課題に関連する代表的なもの3点に〇印を 付け、論文別刷等(コピー可)を添付		
	所属	〇〇研究チーム	役職 上級研究員
	TEL		FAX

1. 研究開発課題について

(1) 研究目標 (400 字以内)

※現状の問題点等を含め、本提案における研究目標を具体的に記載してください。

(2) 企業が持つ知

①チームリーダー候補者

〇〇 〇〇 (〇〇開発部、主席研究員)

②企業が持つ知・技術、チームリーダー候補者の業績 (800 字以内)

記載例)

当社は、〇〇のメーカーであり、〇〇の研究開発、製造販売を行っている。そのため、〇〇の実用化のための〇〇を有している。

チームリーダー候補者の〇〇は、当社では〇〇に従事しており、〇〇を熟知しているとともに、本提案に不可欠な〇〇の技術を有している。また、〇〇の経験を踏まえ、本研究実施に必要なマネジメント能力を有しているため、チームリーダーとして適任である。

(3) 理研に期待する知

①パートナーとなる研究者 (副チームリーダー候補者)

〇〇 〇〇 (〇〇研究センター〇〇研究チーム、上級研究員)

②パートナーとなる研究者に期待する知、及び理研に期待する施設・設備等 (800 字以内)

記載例)

〇〇はこれまでの実績が示すとおり、〇〇の研究に携わっており、〇〇を熟知しているとともに、本提案に不可欠な〇〇の技術を有しているため、パートナー研究者として適任である。

(4) 研究計画

※下表 (記入例) を参考に研究のマイルストーンを記載して下さい。

項目	年度		年度		年度		年度	
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
①〇〇の開発								
1) 〇〇の構築	→							
2) 〇〇の試作			→					
3) 〇〇の評価					→			
②△△法の開発	→							
③〇〇の製作						→		

2. 事業化計画

(1) 最終的に目指す製品等の具体的な内容 (400 字以内)

※本提案において実用化を目指す製品・サービスについて、仕様等を含め具体的な内容が分か

るよう詳細に記載してください。

(2) **事業化により期待される社会への貢献、市場性** (400字以内)

※目指す製品・サービスによりもたらされる経済的価値、社会的価値について、市場性、事業性を具体的な数字を用いて記載してください。

(3) **事業化までのロードマップ**

※下表(記入例)を参考に事業化のマイルストーンを記載して下さい。

項目	年度		年度		年度		年度	
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
①製品の仕様検討	→		→		→			
②〇〇の開発	→		→					
③〇〇の評価			→		→			
④〇〇の製造			→		→		→	
⑤上市							→	

3. 研究開発実施に必要な資源

(1) 融合チームの構成について

①企業からの参加者

マネジメント：〇〇 〇〇 (〇〇開発部、主席研究員) ※チームリーダー<非常勤 週〇日×〇時間>

〇〇技術：〇〇 〇〇 (〇〇事業部、研究員) <常勤>

〇〇技術：〇〇 〇〇 (〇〇システム開発部、システムエンジニア) <非常勤 週〇日×〇時間>

②理研からの参加者

〇〇技術：〇〇 〇〇 (〇〇研究センター〇〇研究チーム、上級研究員) ※副チームリーダー

〇〇技術：〇〇 〇〇 (〇〇研究センター〇〇研究チーム、研究員)

③新規雇用者等

〇〇技術：博士研究員2名<常勤>

〇〇技術：テクニカルスタッフ1名<常勤>

実験補助：パートタイマー1名<非常勤>

(2) 研究費について

1) **企業と理研の負担額**

単位：千円

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計
①企業負担額※	15,000	15,000	15,000	22,000	22,000	89,000
②理研負担額	15,000	15,000	15,000	20,000	20,000	85,000
合計	30,000	30,000	30,000	42,000	42,000	174,000

※企業負担額は直接経費および間接経費の合計

2) 概算内訳 (④チーム予算額の内訳)

- ①人 件 費：平成 29 年度：博士研究員 1 人 @8,000 千円/年  
実験補助パートタイマー 1 人 @3,000 千円/年  
平成 30～31 年度：博士研究員 2 人 @8,000 千円/年  
テクニカルスタッフ 1 人 @5,000 千円/年  
実験補助パートタイマー 1 人 @3,000 千円/年  
平成 32～33 年度：博士研究員 2 人 @8,000 千円/年  
テクニカルスタッフ 1 人 @5,000 千円/年  
実験補助パートタイマー 1 人 @3,000 千円/年
- ②機器・設備費：平成 29 年度：○○○機器 11,000 千円、○○○装置 5,000 千円  
平成 30 年度：○○○装置 21,000 千円  
平成 31 年度：○○○機器 11,000 千円
- ③そ の 他：平成 29～33 年度：○○ガス 3,000 千円/年  
平成 30～33 年度：オリゴ DNA 2,000 千円/年

(3) 利用する研究施設、設備等

- (4) 本提案課題に関連する特許  
\*該当する特許があれば記載、添付。

5. 必要なスペース (概算)

居室： 40 m<sup>2</sup>  
生物系実験室： 30 m<sup>2</sup>  
化学系実験室： 30 m<sup>2</sup>  
計 100 m<sup>2</sup> (和光)

6. 融合チームにおいて、使用を予定している試料

- (1) RI 試料の使用：有 ・ 無  
→ 有の場合、(密封・非密封の別、種類及び量： )
- (2) 特定高圧ガス使用：有 ・ 無 (有の場合、種類及び量： )
- (3) その他取扱に注意を要する試料等の使用：有 ・ 無  
→ 有の場合、試料名：  
分類：(反応性ガス、劇物、毒薬、向精神薬、遺伝子組換え生物、動物、その他)  
量：
- (4) その他 (特殊装置等の使用予定がある場合は記載)

7. その他

提案内容に関する補足資料 (パワーポイントで 2～3 枚程度) を添付。

## 添付資料の確認リスト

### 1. チームリーダー候補者に関する書類

履歴書（写真付）

職務経歴書（業績リストを含む）

\*業績のうち本提案課題に関連する代表的なもの3点に○印を付け、論文別刷等（コピー可）を添付

### 2. 副チームリーダー候補者に関する書類

意見書

業績リスト

\*業績のうち本提案課題に関連する代表的なもの3点に○印を付け、論文別刷等（コピー可）を添付

### 3. 本提案課題に関連する特許等の書類

特許公報等

### 4. 提案内容に関する補足資料（パワーポイントで2～3枚）